

# 第1回石狩市地域自治システム検討会議会議録

【日時】 平成25年8月5日(月) 10:00～11:30

【場所】 石狩市役所 401・402会議室

【出席者】 竹口委員、池田委員、酒井委員、中島委員、貝田委員、嶋田委員、遠藤委員、  
羽田委員、阿部委員、北原委員、高野委員、上ヶ嶋委員、廣長委員  
(事務局 森本・山田)

【欠席者】 米倉委員

【会議内容】

## ■次第1 開会

## ■次第2 挨拶(企画経済部長)

## ■次第3 自己紹介

- ・ 会議の会議録は、要点筆記し、委員に確認の上、ホームページで公開

### ≪池田委員≫

委員の選任方法で、全ての連合町内会が参画しておらず、また、市連協に未加入の町内会も不参画であり、委員の選定を確認したい。

### ≪高野委員≫

全ての連合町内会や未加入の町内会の参画は、検討会議の構成人数の関係もあり、今回の委員選任で地域的に網羅されるという点から5名とした。

## ■次第4 検討会議の設置

- ① 経緯 ～ 資料1により説明
- ② 概要 ～ 資料2により説明

### ≪羽田委員≫

本日、アドバイザーの佐藤教授の御出席はいただかないか。

### ≪高野委員≫

検討会議の進行に当たり、様々な意見をいただくこととなっており、第2回目以降出席予定です。

### ≪遠藤委員≫

厚田区と浜益区に財政支援はあるが、今回の財政支援の考え方はどうなのか。

## 《高野委員》

検討会議で、財政支援のあり方を検討していくこととなる。

## ■次第4 検討会議の設置

### ③ 会長及び副会長の選出

・「会長」に竹口委員、「副会長」に嶋田委員を選出

## ■次第5 議事

### ① 検討会議のスケジュール、進め方等 ～ 資料3により説明

## 《北原委員》

地域意見交換会の地域選定として地区社協の話があるが、自治会のように全部を網羅した方がいいのか、地区社協のように一部の活動に限定した方がいいのか。また、各団体の範囲はどこまで想定しているのか。

## 《高野委員》

地域意見交換会の地域選定は、検討会議の委員の意見を聞きながら決めていきたい。各団体の範囲は、委員が選出されている母体団体を考えている。

## ■次第5 議事

### ② 地域別人口や各団体の現状等 ～ 資料4-1、4-2、4-3により説明

## 《池田委員》

「資料4-3」の花畔の地区社協は、花畔連町と同地区であり、修正願います。

## 《事務局》

修正します。

## 《貝田委員》

「資料4-3」の青少年健全育成協議会で樽川中学校の区域はないのか。

## 《事務局》

青少年健全育成協議会では、花川南の区域に入ります。

## ■次第6 その他

## 《貝田委員》

資料3のスケジュールでは、地域意見交換会を開催し、その開催結果を検討会議にフィードバックしながら進める予定だが、来年3月まで「基本的な方向性」の取りまとめが終了するのか。地域の皆様に聞いた意見は、改めて地域にフィードバックする機会はあるのか。

### 《高野委員》

6回目検討会議で取りまとめる「基本的な方向性」の最終案は、地域意見交換会に提示し、意見を聞く予定です。

### 《羽田委員》

当団体は、NPO団体の中間支援であり、連町組織のように各団体を束ねる組織でないが、NPO団体の課題は、まとめて報告するイメージであるのか。

### 《高野委員》

NPO団体でそれぞれの課題があり、ある程度共通の課題を報告願います。

### 《阿部委員》

校長会からの選出であり、どのような観点から次回の課題報告を行うか。学校であれば非常に専門的な課題がある。

### 《貝田委員》

2回目の課題報告は、事務局がまとめて委員に提案するのか、委員が事前に情報収集し、各団体の課題を報告するのか確認したい。後者であれば、あらかじめ課題を整理する必要がある。

### 《竹口会長》

各団体で規模や実態が違い、取組むテーマを2～3事例を出し、関係する団体で意見交換すべき。花畔や花川北・南で実態が違い、地域活動に差があり、モデル地区から水平展開に発展させるべきで、全市展開は意識や状況の違いがありなかなか進まず難しいと思う。

### 《高野委員》

委員には、通常の活動で抱えている課題を報告いただきたい。

### 《阿部委員》

各学校の課題を掌握して会議に報告するのか、委員個人が感じている課題を直接報告しているのか。個人的にこれまでの学校活動から、他委員に課題意識を持って考えてほしい点で発言していいか。

### 《高野委員》

課題は、組織でオーソライズされていなくて結構です。

### 《北原委員》

団体運営の課題は多い。この仕組みを利用し、団体として解消ができる課題であり、団体の課題をがっちり整理するならば数多くの意見を聞くこととなる。この検討会議は、この仕組みにより、自分達が抱えている課題はこれならば対処できるという範囲に絞って課題提出する方がいいと思う。

### 《貝田委員》

去年開催の福祉懇談会で、様々な町内会や地区社協から多くの発言があり、意見がまとまらず、予定時間を超えてしまうことが多い。地域意見交換会を開催した場合には、百人百様の意見を一つの意見にまとめる作業は容易でない。

### 《北原委員》

本日の会議は1回目であり、進め方、課題や質問など含め、ペーパーを提出し、進めていく方法があると思う。

### 《池田委員》

花畔連町は、地区社協と連動した事業実施だけで、課題報告は難しい。組織設立により、何か課題はあるかという聞き方でなければ、解決方法が見えない課題が出てくる。ある程度の枠組みの提示が必要と考えている。町内会の加入率が低下し、加入率を向上させる妙案を官民含めて考えるべきで、加入率が50%切ってしまうと、この地域自治として連町や各団体の代表者で構成してもまとまらず、持続可能性が見込めないと思う。

### 《中島委員》

課題報告では、この検討会議は前に進まない。市側による方向性の提案が必要と各委員は感じている。課題は多くあり、若葉地区の地区社協は月に1回会長が集まり会議を行い、議題を持ち寄り、様々な活動に取り組んでいる。市側で高齢者見守りや子供など方向性を出すことで多くの意見が生まれ、それを参考すべき。実際の活動団体から発表を受けることで市側が活動を理解し、さらに上の活動を目指すため、市側から再提案が可能となり、その進め方が必要と思う。市側で基本的な方針を多く提案すべきと思う。

### 《上ヶ嶋委員》

市から課題提案して話し合う方法もあるが、地域の様々な意見がある中で、市が困っている課題を誘導する恐れがあり、委員の意見を会議の中で出してもらい、地域の皆様の知恵をいただき解決することがシステムの狙いであり、石狩バージョンの地域自治システムを構築することで、地域にふさわしい方向性が見えると考えている。

### 《竹口会長》

地域社会の我々も提案し、市側も提案し、キャッチボールをする必要がある。広範囲な意見を取りまとめるのは容易でなく、一例として各委員が課題を1つ次回提案し、事務局側も地域で取り組むテーマを提案しなければ、広範囲であり前に進まない。連町や単町も組織・歴史・実態・意識に温度差があり、まとめることは容易でなく、市全体として1つの方向性をまとめるため、意見をいただきたいと考えている。

### 《高野委員》

この会議の中では、地域が主体となり、できる事を考えていきたいという趣旨です。

### 《北原委員》

この話はいい事だが、実際には大変な事と思う。私達の役割は、立場でしか意見は言えないが、この組織は絶対いい事で、どんな形態や関わりで進めていくのか、どんな協議形態を取れば進むのか、そのため、自分の意見はしっかり言うべきと思い、会議に参加した。まず、この組織が必要で作るという前提で協議を進める必要がある。

### 《貝田委員》

自分自身の負担を軽減することも含め、昨年度の意見交換会では、花川南地区の課題は、「広域的な防災訓練の実施」「高齢者対策」「空家住宅の活用」の3点を提案した。委員として、このレベルの課題報告でいいのか、確認したい。

### 《羽田委員》

事務局でペーパーを提出すべきで、話し合いだけでは方向性は見えてこない。花川南は羅列できる程きっちり持っているが、自分も事前にまとめ、次回には、私達も課題を出さなければ進まないと思う。

### 《竹口会長》

次回まで、2～3程度の協議時間しかないと思うが、事務局と委員の方々が、それぞれ抱えている地域の課題を2～3提出いただき、まとめて整理することでいいか。

### 《高野委員》

委員皆様方には、お手数をおかけするがお願いします。

## ■次第7 閉会